

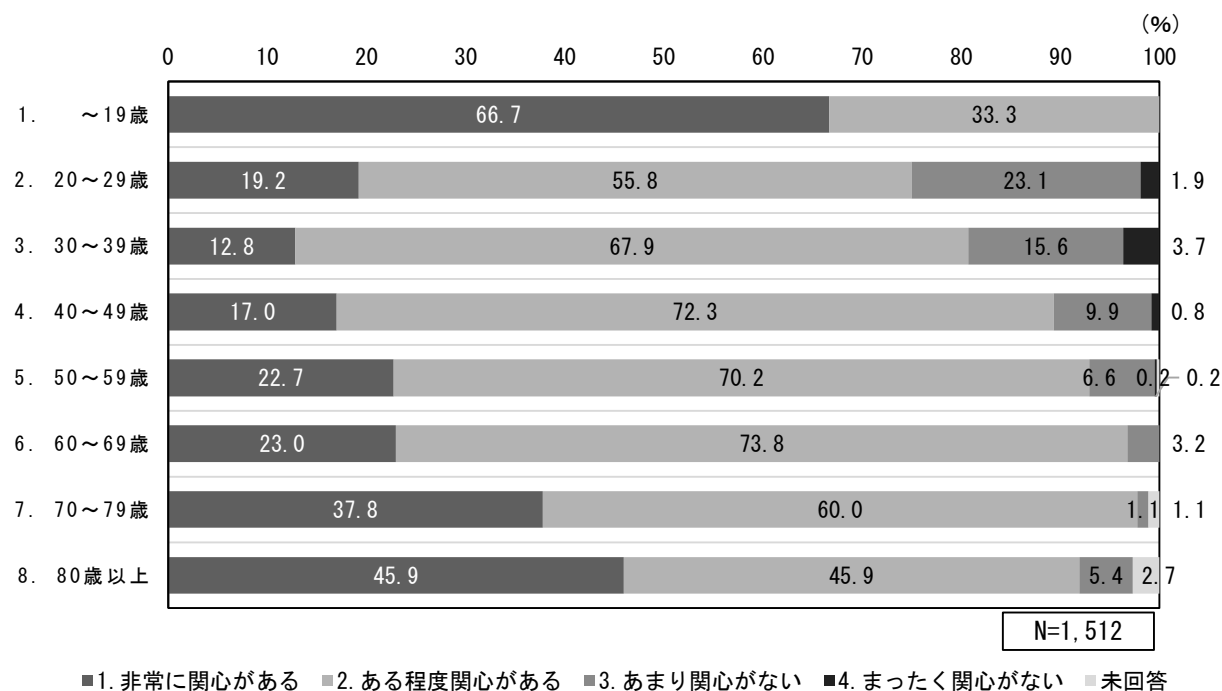
設問	特徴・課題												
問 1 あなたはごみの減量やリサイクルにどの程度関心がありますか。(○1 つ) <table border="1"><thead><tr><th>関心程度</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>1. 非常に関心がある</td><td>22.3%</td></tr><tr><td>2. ある程度関心がある</td><td>68.6%</td></tr><tr><td>3. あまり関心がない</td><td>8.0%</td></tr><tr><td>4. まったく関心がない</td><td>0.9%</td></tr><tr><td>未回答</td><td>0.3%</td></tr></tbody></table>	関心程度	割合	1. 非常に関心がある	22.3%	2. ある程度関心がある	68.6%	3. あまり関心がない	8.0%	4. まったく関心がない	0.9%	未回答	0.3%	【特徴】【ごみ減量等への関心】 「1. 非常に関心がある」または「2. ある程度関心がある」が約 91%となっており、本市では関心をもっている人の割合が高くなっています。
関心程度	割合												
1. 非常に関心がある	22.3%												
2. ある程度関心がある	68.6%												
3. あまり関心がない	8.0%												
4. まったく関心がない	0.9%												
未回答	0.3%												

<<年齢別クロス集計>>

【特徴】【ごみ減量等への関心】

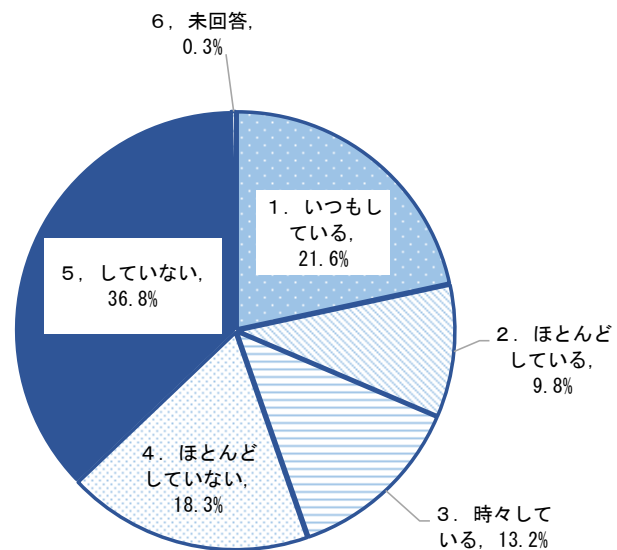
年齢別のクロス集計結果からみると、「1. 非常に興味がある」の割合は、回答数は非常に少ない「1. ～19 歳」が高く、次いで「8. 80 歳以上」となっており、「2. 20～29 歳」、「3. 30～39 歳」、「4. 40～49 歳」では低くなっています。

より多くの方に一層の関心を持っていただけるよう、周知を継続していく必要があります。

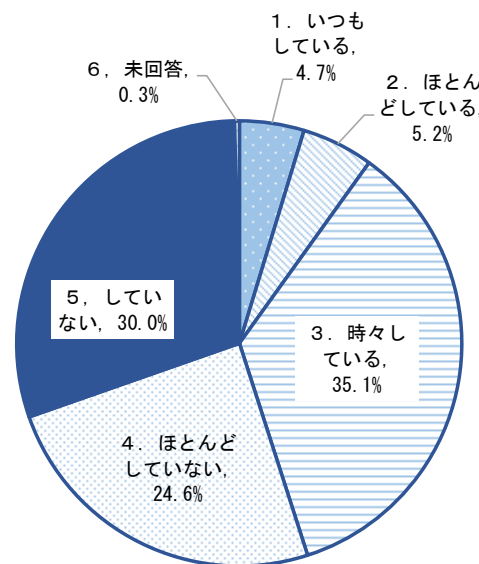


設問	特徴・課題																											
問2 ごみの減量やリサイクルについて、現在どのようなことに、どの程度取り組んでいますか。	【特徴】【現在取り組んでいること】 いつもしているとの回答が多かったのは、「4. 買い物時のマイバックを持参している」で、「1. いつもしている」と「2. ほとんどしている」を合わせると約95%となり、<u>マイバック利用は定着してきていると考えられます。</u> 【課題】【現在取り組んでいること】 現在していないとの回答割合が多かった項目としては、 「3. 生ごみのたい肥化」 「7. リサイクルBOXの利用」 「9. フリーマーケット等の利用」 「12. 集団回収へ参加」 であり、これらを<u>回答した方の参加意識の向上が必要です。</u>																											
③生ごみをたい肥化している <table border="1"> <caption>③生ごみをたい肥化している</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. いつもしている</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>2. ほとんどしている</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>3. 時々している</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>4. ほとんどしていない</td> <td>9.1%</td> </tr> <tr> <td>5. していない</td> <td>81.7%</td> </tr> <tr> <td>6. 未回答</td> <td>0.4%</td> </tr> </tbody> </table> ④マイバックを持参している <table border="1"> <caption>④マイバックを持参している</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. いつもしている</td> <td>76.9%</td> </tr> <tr> <td>2. ほとんどしている</td> <td>17.9%</td> </tr> <tr> <td>3. 時々している</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>4. ほとんどしていない</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>5. していない</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>6. 未回答</td> <td>0.4%</td> </tr> </tbody> </table>		回答	割合	1. いつもしている	2.1%	2. ほとんどしている	1.9%	3. 時々している	4.9%	4. ほとんどしていない	9.1%	5. していない	81.7%	6. 未回答	0.4%	回答	割合	1. いつもしている	76.9%	2. ほとんどしている	17.9%	3. 時々している	3.1%	4. ほとんどしていない	0.9%	5. していない	0.8%	6. 未回答
回答	割合																											
1. いつもしている	2.1%																											
2. ほとんどしている	1.9%																											
3. 時々している	4.9%																											
4. ほとんどしていない	9.1%																											
5. していない	81.7%																											
6. 未回答	0.4%																											
回答	割合																											
1. いつもしている	76.9%																											
2. ほとんどしている	17.9%																											
3. 時々している	3.1%																											
4. ほとんどしていない	0.9%																											
5. していない	0.8%																											
6. 未回答	0.4%																											

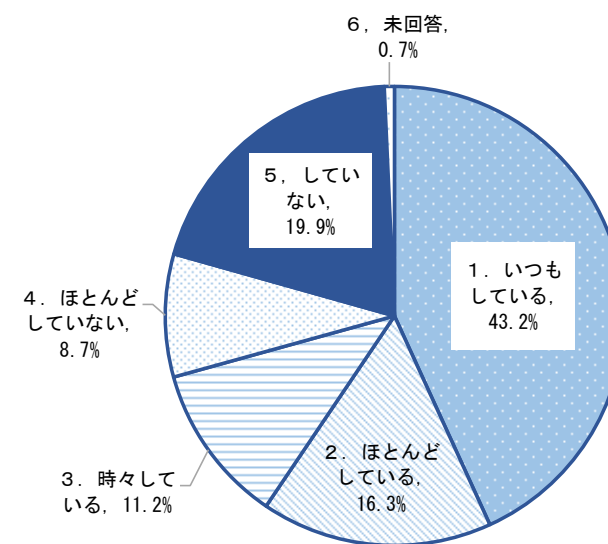
⑦トレイや、牛乳パックはスーパーなどの
リサイクル BOX を利用している



⑨フリーマーケットやリサイクル
ショップなどを利用する



⑫集団回収に参加している



問3 ごみの減量やリサイクルについて、今以上にやってみようと思うことや簡単にできそうだと思うことはありますか。(〇は3つまで)

【特徴】【今以上にやりたいこと】

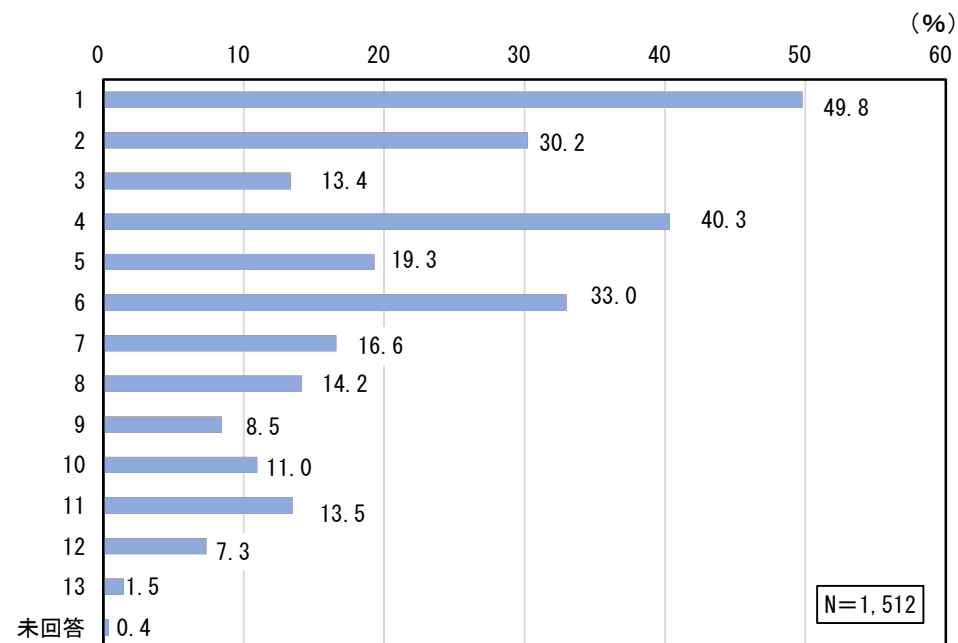
今後、取組が向上すると考えられる項目

- ・「1. ごみの分別をきちんとする」
- ・「4. 買い物時のマイバッグを持参する」
- ・「6. 食品ロスの削減」

【課題】【今以上にやりたいこと】

今後取組が増えにくいと考えられる項目「3. 生ごみのたい肥化」「9. フリーマーケット等の利用」「10. 使い捨て製品を買わない」「11. 修理して長く使う」「12. 集団回収」であり、前問と合わせると「3. 生ごみのたい肥化」「9. フリーマーケット等の利用」「12. 集団回収」などの項目は現状のままでは、活動の促進は期待できません。

	(件) 回答数
1. ごみの分別をきちんとする	753
2. 生ごみは水気を切ってから出す	457
3. 生ごみをたい肥化する	202
4. 買い物時マイバッグを持参する	610
5. 余分な包装は断る	292
6. 食品の買い過ぎや食べ残しを減らし、食品を捨てないようにする	499
7. トレイや、牛乳パックはスーパーなどのリサイクルBOXを利用する	251
8. 詰め替えタイプの商品を選んで買うようにする	214
9. フリーマーケットやリサイクルショップを利用する	128
10. 使い捨て製品を買わないようにする	166
11. 修理をするなどして物を長く大切に使う	204
12. 集団回収に参加する	111
13. その他	22
未回答	6
合計	3,915



問4 ごみの減量やリサイクルが進まないなどごみ問題の大きな原因は何だと思いますか。

【特徴】【ごみ問題の原因】

一番多かった回答は、「1. ごみを排出する市民の意識」で、次いで「6. 大量生産・大量消費・大量廃棄の生活様式が進んでいる」となりました。

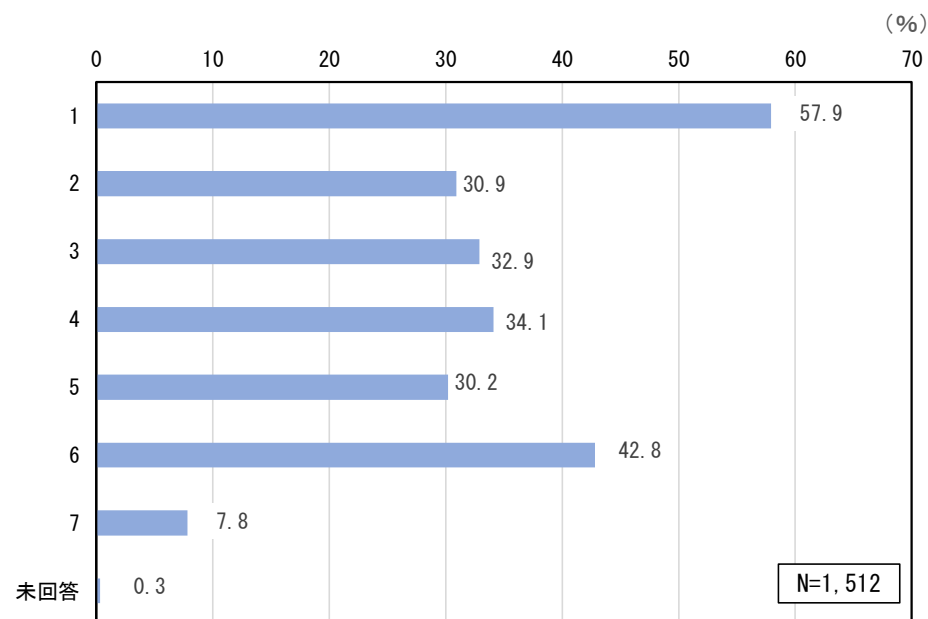
多くの方が、ごみの減量やリサイクルを進めるためには市民意識の向上が必要だと認識されています。



【課題】【ごみ問題の原因】

多くの方が回答したように、市民のごみの排出（分別やごみの減量等）に対する意識の向上につながるよう、啓発や情報の提供の工夫が必要です。

	(件) 回答数
1. ごみを排出する市民の意識	876
2. 情報が十分に伝えられていない	467
3. 事業者のリユース（再使用）やリサイクル（再資源化）の取り組みが十分ではない	497
4. ポイ捨てや不法投棄に対する規制や対策が徹底されていない	515
5. メーカーや販売店など企業のごみ減量化への取り組みが十分ではない	456
6. 大量生産・大量消費・大量廃棄の生活様式が進んでいる	647
7. その他	118
未回答	5
合計	5,421



問5 ごみの排出や減量に関して、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

【特徴】【排出や減量で困ったこと】

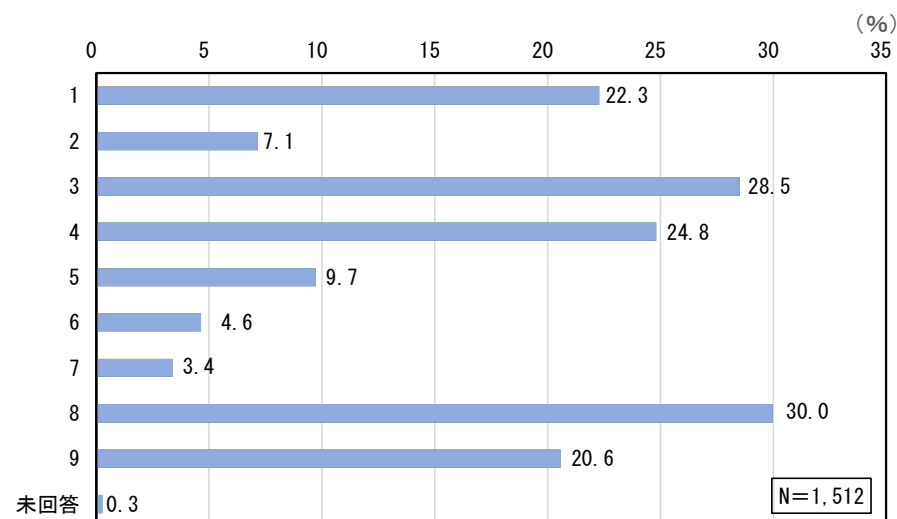
「8. 特に困っていることはない」との回答が一番多かった一方、何らかの要因で困っているとの回答も同数程度見られることから意見が二分しています。



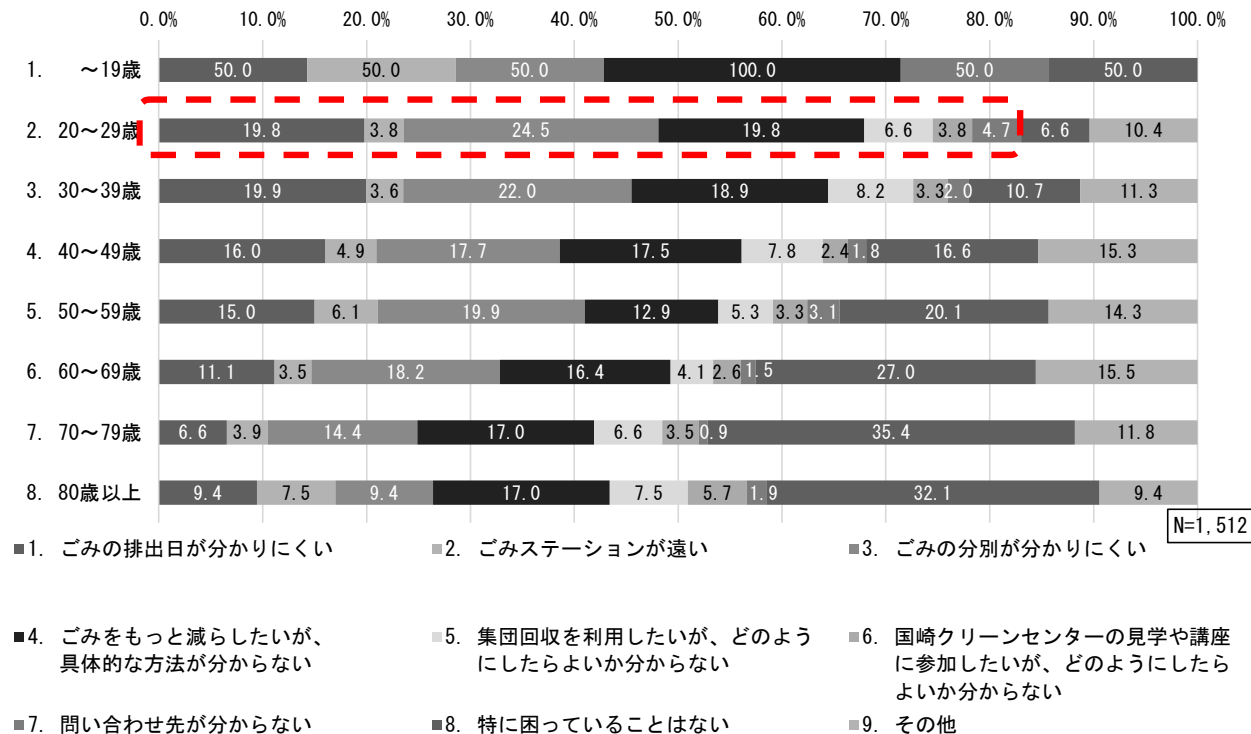
【課題】【排出や減量で困ったこと】

現在困っていることとして「1. ごみの排出日がわかりにくい」「3. ごみの分別がわかりにくい」「4. ごみをもっと減らしたいが具体的な方法が分からない」があげられており、情報提供の手法の改善が必要であると考えられます。

	(件)
	回答数
1. ごみの排出日がわかりにくい	337
2. ごみステーションが遠い	108
3. ごみの分別がわかりにくい	431
4. ごみをもっと減らしたいが、具体的な方法が分からない	375
5. 集団回収を利用したいが、どのようにしたらよいか分からない	147
6. 国崎クリーンセンターの見学や講座に参加したいが、どのようにしたらよいか分からない	70
7. 問い合わせ先が分からない	51
8. 特に困っていることはない	453
9. その他	311
未回答	4
合計	2,287



<<年齢別クロス集計>>



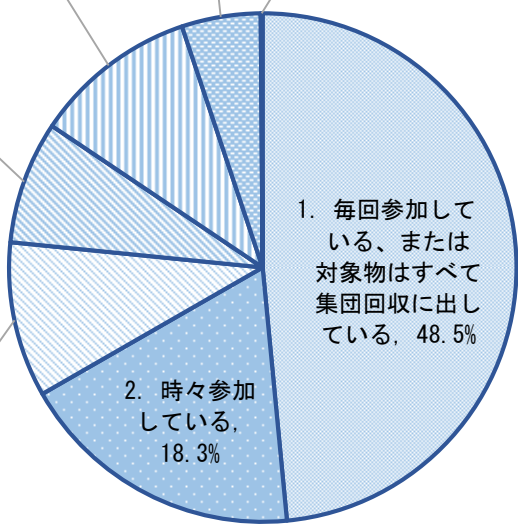
【特徴】【排出や減量で困ったこと】

年齢別のクロス集計結果をみると、「8. 特に困っていることはない」との回答は、年齢の高い方で多くなっており、困っているとの回答は若い方の方が多く選択されています。



【課題】【排出や減量で困ったこと】

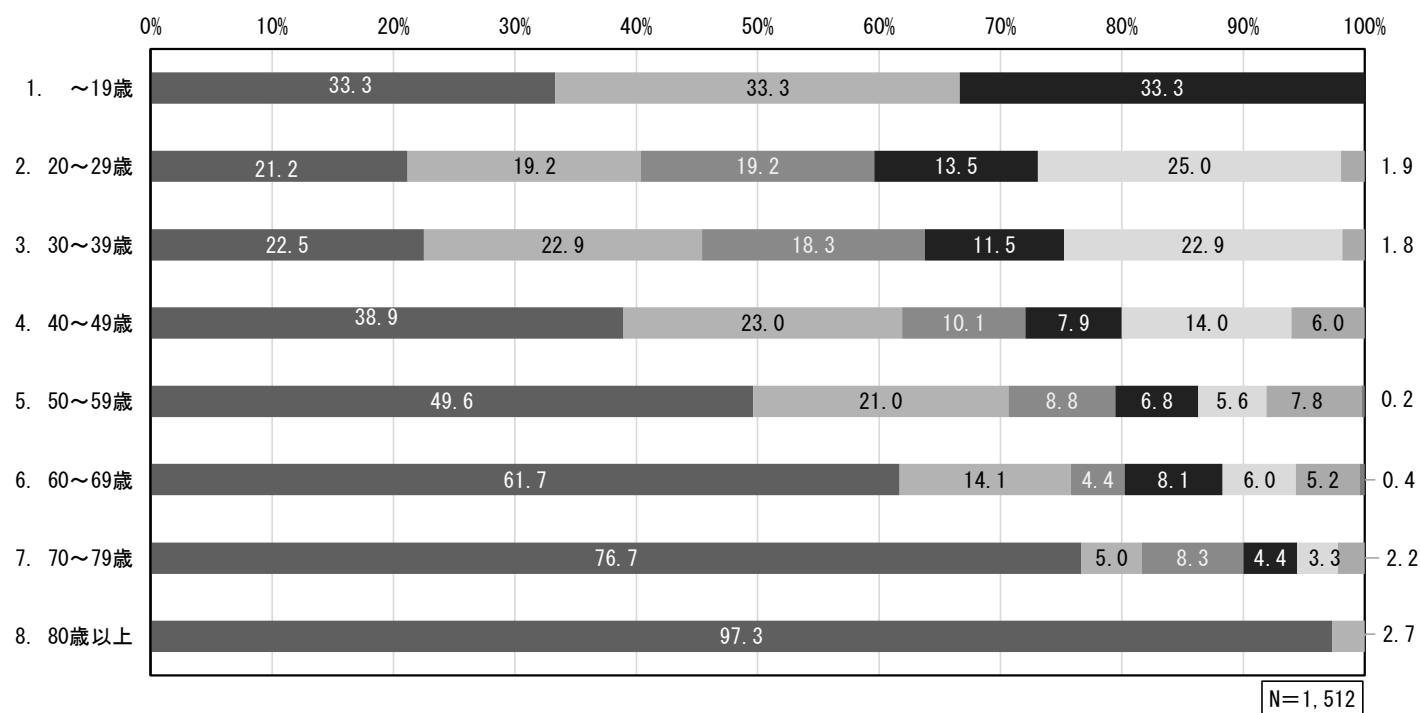
分別方法やごみの減らし方などについて、市民のライフスタイルに合った情報ツールを活用し、必要とする情報にアクセスできるような工夫が必要です。

設問	特徴・課題																
問 6-1 地域で行われている古紙やアルミ缶など資源物の集団回収に参加していますか  <table border="1"> <thead> <tr> <th>参加状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 毎回参加している、または対象物はすべて集団回収に出している</td> <td>48.5%</td> </tr> <tr> <td>2. 時々参加している</td> <td>18.3%</td> </tr> <tr> <td>3. 知らなかったが、今後は参加したい</td> <td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>4. 知っているが、参加したことがない</td> <td>7.8%</td> </tr> <tr> <td>5. 知らなかったし、今後も参加しない</td> <td>10.4%</td> </tr> <tr> <td>6. その他</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>0.1%</td> </tr> </tbody> </table>	参加状況	割合	1. 毎回参加している、または対象物はすべて集団回収に出している	48.5%	2. 時々参加している	18.3%	3. 知らなかったが、今後は参加したい	9.9%	4. 知っているが、参加したことがない	7.8%	5. 知らなかったし、今後も参加しない	10.4%	6. その他	5.0%	未回答	0.1%	【特徴】【集団回収への参加】 「1. 毎回参加している、または対象物はすべて集団回収に出している」、「2. 時々参加している」方が約 70%となっています。一方、「3. <u>知らなかったが、今後は参加したい</u>」「4. <u>知っているが、参加したことがない</u>」「5. <u>知らなかったし、今後も参加しない</u>」方も約 28%となっています。  【課題】【集団回収への参加】 参加しない・参加したことがないの約 18%の方々にご協力いただくことで集団回収も活発化していく可能性があります。
参加状況	割合																
1. 毎回参加している、または対象物はすべて集団回収に出している	48.5%																
2. 時々参加している	18.3%																
3. 知らなかったが、今後は参加したい	9.9%																
4. 知っているが、参加したことがない	7.8%																
5. 知らなかったし、今後も参加しない	10.4%																
6. その他	5.0%																
未回答	0.1%																

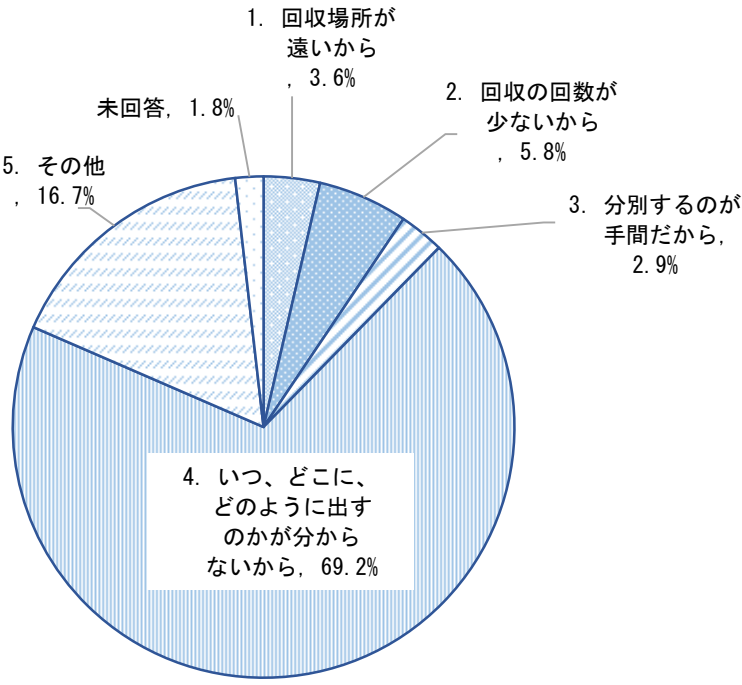
<< 年齢別クロス集計 >>

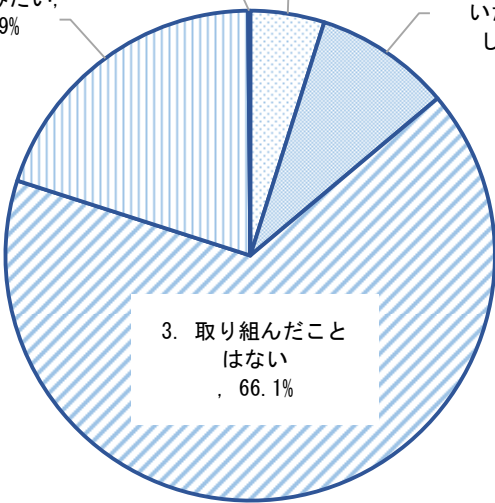
【特徴】【集団回収への参加】

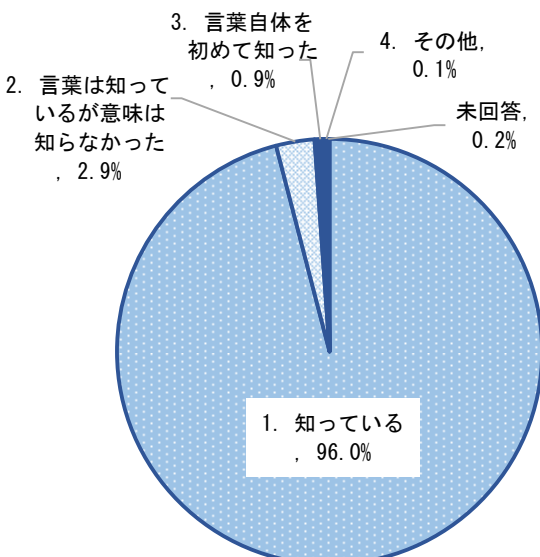
年齢別のクロス集計結果をみると年齢が高くなるほど、参加している方が非常に多い傾向がみられます。



- 1. 毎回参加している、または対象物はすべて集団回収に出している
- 2. 時々参加している
- 3. 知らなかったが、今後は参加したい
- 4. 知っているが、参加したことがない
- 5. 知らなかったし、今後も参加しない
- 6. その他
- 未回答

設問	特徴・課題														
問 6-2 4、5 に○をつけた方にお聞きします。その理由は、次のどれですか。(○は1つ)  <table border="1"> <caption>不参加理由の割合</caption> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4. いつ、どこに、どのように出すのかが分からないから</td> <td>69.2%</td> </tr> <tr> <td>5. その他</td> <td>16.7%</td> </tr> <tr> <td>2. 回収の回数が少ないから</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>3. 分別するのが手間だから</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>1. 回収場所が遠いから</td> <td>3.6%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>1.8%</td> </tr> </tbody> </table>	理由	割合	4. いつ、どこに、どのように出すのかが分からないから	69.2%	5. その他	16.7%	2. 回収の回数が少ないから	5.8%	3. 分別するのが手間だから	2.9%	1. 回収場所が遠いから	3.6%	未回答	1.8%	【特徴】【集団回収に参加しない理由】 「4. いつ、どこにどのように出すのか分からない」が約 69%と最も多く回答されています。 【課題】【集団回収に参加しない理由】 集団回収に対する<u>情報提供と啓発が必要と考えられます。</u>
理由	割合														
4. いつ、どこに、どのように出すのかが分からないから	69.2%														
5. その他	16.7%														
2. 回収の回数が少ないから	5.8%														
3. 分別するのが手間だから	2.9%														
1. 回収場所が遠いから	3.6%														
未回答	1.8%														

設問	特徴・課題												
問7 生ごみ処理機やコンポスト化容器などを利用して生ごみをたい肥化し、生ごみの減量化に取り組んだことはありますか。(〇は1つ)  <table border="1" data-bbox="392 523 1120 1142"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 現在取り組んでいる</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>2. 以前取り組んでいたが、今はしていない</td> <td>9.0%</td> </tr> <tr> <td>3. 取り組んだことはない</td> <td>66.1%</td> </tr> <tr> <td>4. 今後、取り組んでみたい</td> <td>19.9%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>0.1%</td> </tr> </tbody> </table>	回答内容	割合	1. 現在取り組んでいる	4.9%	2. 以前取り組んでいたが、今はしていない	9.0%	3. 取り組んだことはない	66.1%	4. 今後、取り組んでみたい	19.9%	未回答	0.1%	【特徴】【たい肥化の取り組み】 「3. 取り組んだことはない」との回答が約66%、「4. 今後、取り組んでみたい」との回答が約20%となっています。  【課題】【たい肥化の取り組み】 たい肥化を促進するためには、取り組みやすい方策の検討が必要と考えられます。
回答内容	割合												
1. 現在取り組んでいる	4.9%												
2. 以前取り組んでいたが、今はしていない	9.0%												
3. 取り組んだことはない	66.1%												
4. 今後、取り組んでみたい	19.9%												
未回答	0.1%												

設問	特徴・課題												
問 8-1 近年、食品ロス（本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと）を削減するため、行政・事業者においても様々な取り組みが進められています。「食品ロス」という言葉を知っていますか。（〇は1つ）  A pie chart illustrating the responses to the question 'Do you know the term 'Food Loss'?' (問 8-1). The chart is divided into five segments: a large blue segment for '1. 知っている' (I know) at 96.0%, a small white segment for '2. 言葉は知っているが意味は知らなかった' (I know the word but not the meaning) at 2.9%, a very small white segment for '3. 言葉自体を初めて知った' (I learned the word for the first time) at 0.9%, a tiny white segment for '4. その他' (Others) at 0.1%, and a small white segment for '未回答' (No answer) at 0.2%. <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 知っている</td> <td>96.0%</td> </tr> <tr> <td>2. 言葉は知っているが意味は知らなかった</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>3. 言葉自体を初めて知った</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>4. その他</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>0.2%</td> </tr> </tbody> </table>	回答内容	割合	1. 知っている	96.0%	2. 言葉は知っているが意味は知らなかった	2.9%	3. 言葉自体を初めて知った	0.9%	4. その他	0.1%	未回答	0.2%	【特徴】【食品ロス削減について】 「1. 知っている」との回答が約 96%となりました。  【課題】【食品ロス削減について】 可食部分のみを指す言葉の意味も知ってもらうことが必要と考えられます。
回答内容	割合												
1. 知っている	96.0%												
2. 言葉は知っているが意味は知らなかった	2.9%												
3. 言葉自体を初めて知った	0.9%												
4. その他	0.1%												
未回答	0.2%												

《年齢別クロス集計》

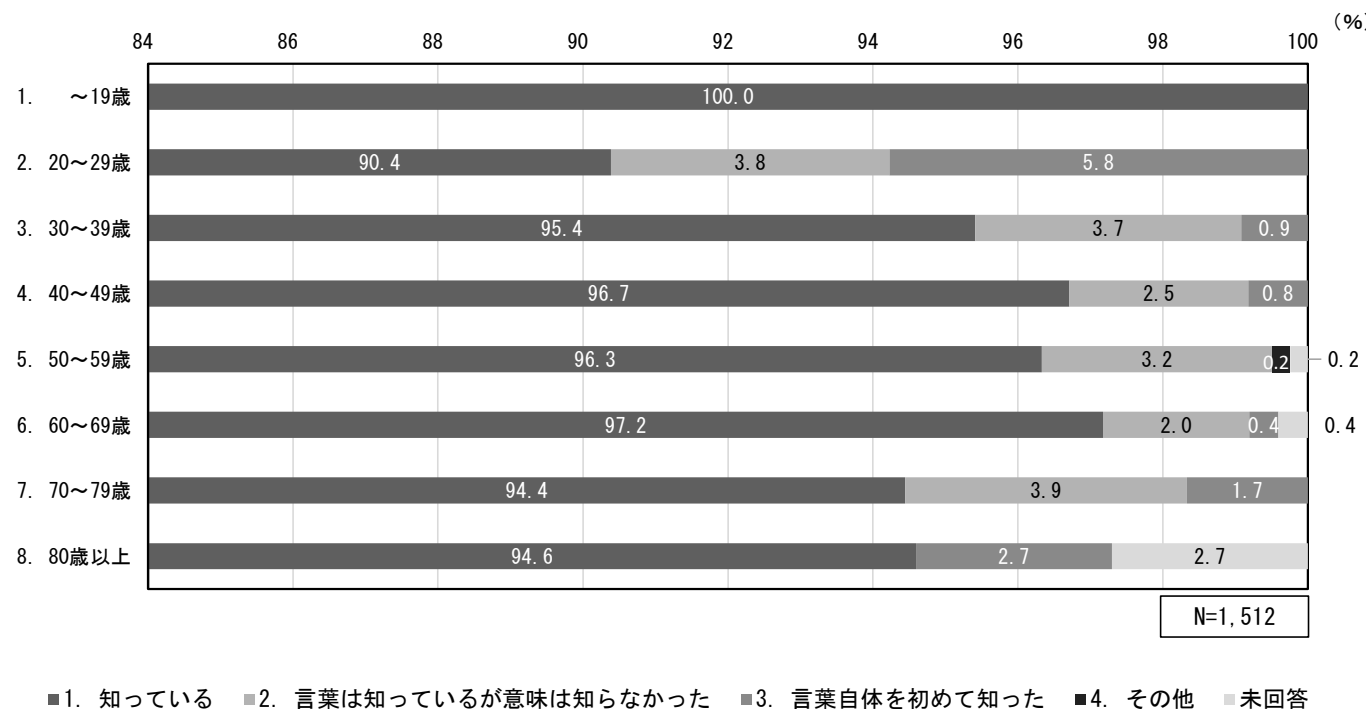
【特徴】【食品ロス削減について】

年齢別のクロス集計結果をみても、年齢での大きな差はみられません。



【課題】【食品ロス削減について】

意識の低い方への啓発の工夫が必要と考えられます。



問 8-2 食品ロスの削減に関する様々な取り組みのうち、取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

【特徴】【食品ロス（現状）】

「1. 食べきれない食品を買い過ぎない」、「2. 買い物前に食品の在庫を確認する」、「6. 外出時は食べきれる量を注文する」という回答が多くみられました。

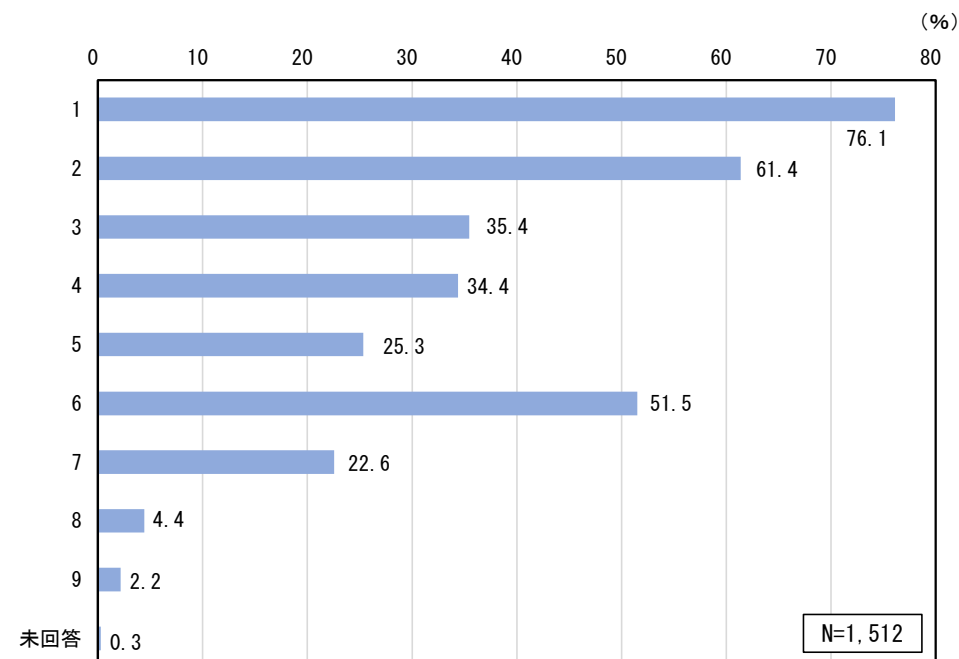
一方、「5. 冷蔵庫の配置の工夫」「7. てまえどり」「8. フードドライブ、フードバンクへの寄付」などはあまり取り組まれていません。



【課題】【食品ロス（現状）】

食品ロス削減を促進するためには、フードドライブ、フードバンクなどの施策や日常生活で取り組める工夫の紹介が必要と考えられます。

	(件)
	回答数
1. 食べきれない食品を買い過ぎない	1,151
2. 買い物前に食品の在庫を確認する	928
3. 長持ちする保存方法を調べて、保存する	536
4. インターネットなどでレシピを検索し、食材を使い切る	520
5. 冷蔵庫の中などの配置方法を工夫する (使い忘れや食べ忘れなどを防ぐ)	383
6. 外出時は食べきれる量を注文する	779
7. 購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前 にある商品等、販売期限の近い商品を選ぶ (てまえどり)	341
8. 食べきれない食品をフードドライブ・フ ードバンクなどへ寄付する	67
9. その他	33
未回答	4
合計	4,742



問 8-3 食品ロスの削減に関する様々な取り組みのうち、取り組みたいものはありますか。(○はいくつでも)

【特徴】【食品ロス（今後の取り組み）】

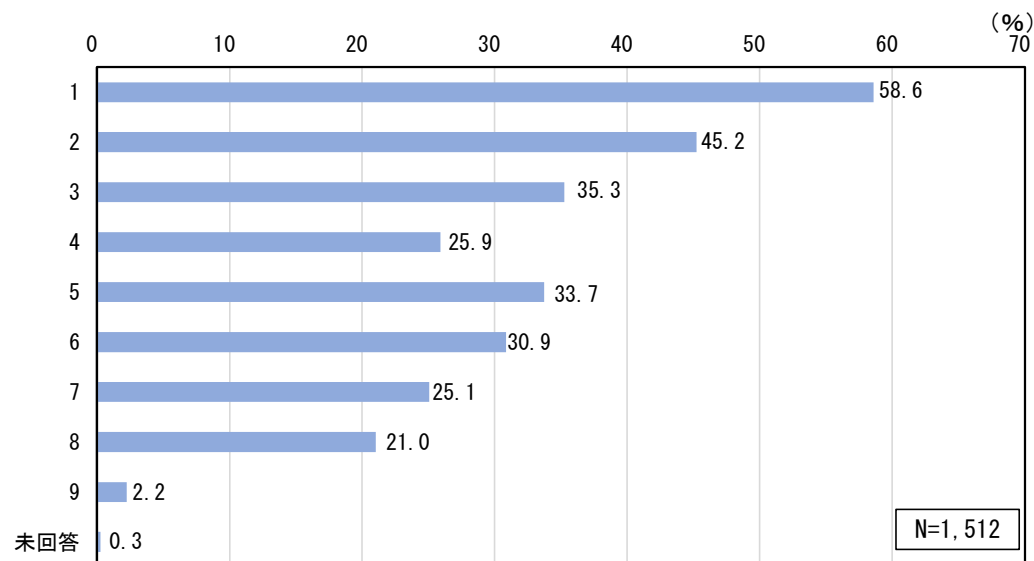
「1. 食べきれない食品を買い過ぎない」が約 59%と最も多く、「8. 食べきれない食品をフードドライブ・フードバンクなどへ寄付する」は約 21%と最も少なく前設問と同じような傾向がみられました。



【課題】【食品ロス（今後の取り組み）】

今後についても積極的な回答が得られなかったフードドライブ、フードバンクなどの活動への参加、施策や工夫への取り組みが進むような施策が必要と考えられます。

	(件) 回答数
1. 食べきれない食品を買い過ぎない	886
2. 買い物前に食品の在庫を確認する	684
3. 長持ちする保存方法を調べて、保存する	533
4. インターネットなどでレシピを検索し、食材を使い切る	392
5. 冷蔵庫の中などの配置方法を工夫する (使い忘れや食べ忘れなどを防ぐ)	510
6. 外食時は食べきれる量を注文する	467
7. 購入してすぐに食べる場合に、商品棚の 手前にある商品等、販売期限の近い商品を選ぶ (てまえどり)	379
8. 食べきれない食品をフードドライブ・フード バンクなどへ寄付する	318
9. その他	34
未回答	4
合計	4,207



問9 国崎クリーンセンターを利用されたことはありますか。(〇はいくつでも)

【特徴】【国崎クリーンセンターの利用】

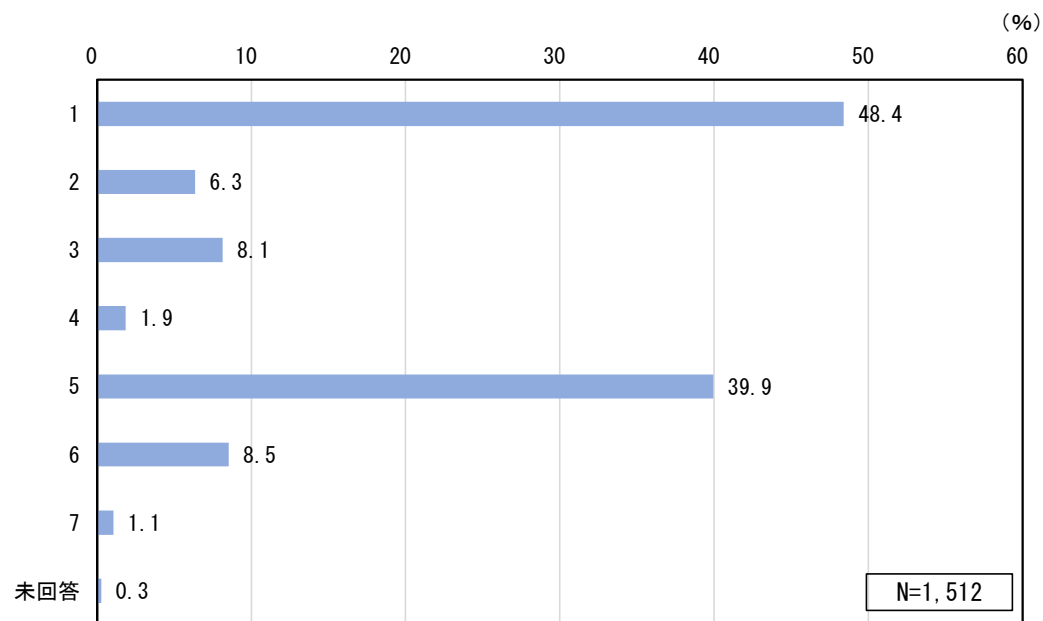
約半数の方は国崎クリーンセンターに行ったことがありますが、約40%の方が行ったことがない、また8.5%の方は知らないと回答しています。



【課題】【国崎クリーンセンターの利用】

収集されたごみの処理の実態を知る機会を多く提供することで、分別の重要性などの理解を促進する必要があります。

	(件) 回答数
1. 国崎クリーンセンターに行ったことがある	732
2. 国崎クリーンセンターの見学会に参加した	96
3. 国崎クリーンセンターで行われたイベントに参加した	123
4. 地域の自治会等で開催された市のまちづくり出前講座で国崎クリーンセンターを見学した	28
5. 国崎クリーンセンターに行ったことがない	604
6. 国崎クリーンセンターを知らない	129
7. その他	16
未回答	4
合計	1,732



問 10 地域のごみステーションで問題となっていることはありますか。(〇はいくつでも)

【特徴】【ごみステーションの問題】

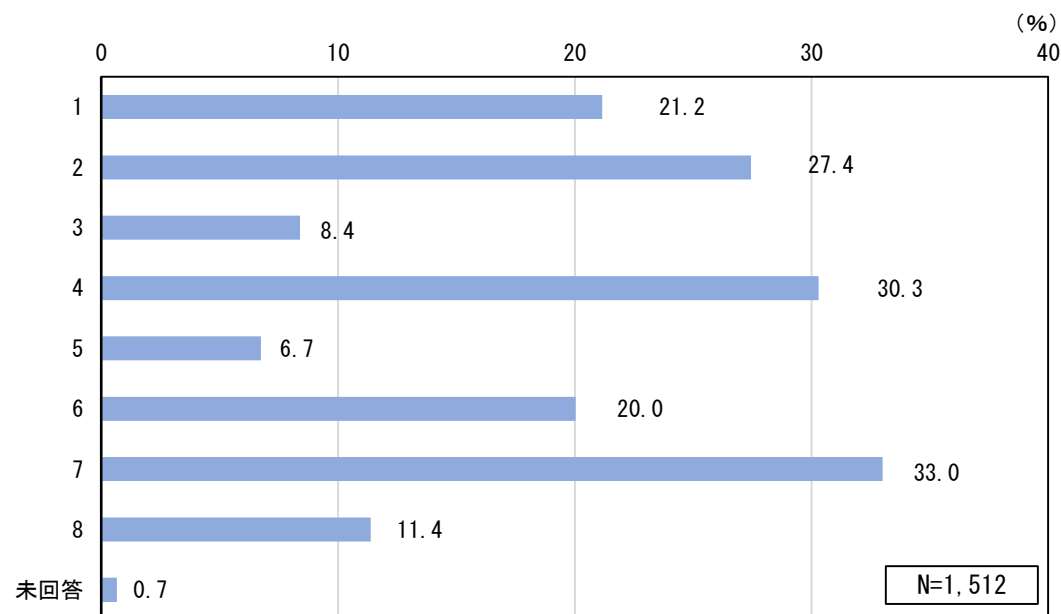
「7. 特に問題ない」との回答が約 33%と最も多い一方、「1. ごみがきちんと分けられていない」、「2. 収集日でない日にごみが出されている」、「4. カラスや猫などの被害」などの問題がごみステーションで生じています。



【課題】【ごみステーションの問題】

ごみステーションへの排出ルールの周知や、より分かりやすい分別排出の方法を伝えていく必要があります。

	(件) 回答数
1. ごみがきちんと分けられていない	320
2. 収集日でない日にごみが出されている	415
3. ごみ出しの時間が守られていない	127
4. カラスや猫などの動物に荒らされる	458
5. ごみステーションが汚れたままになっている	102
6. 資源物が抜き取られている	303
7. 特に問題となっていることはない	499
8. その他	172
未回答	10
合計	2,406



問 11 ごみの減量やリサイクルに関する情報をどのようにして入手していますか。(〇はいくつでも)

【特徴】【情報の入手】

「1. 広報かわにし」が約 77%と最も多く、ホームページなどのインターネットを利用した情報の入手はやや低い結果となりました。

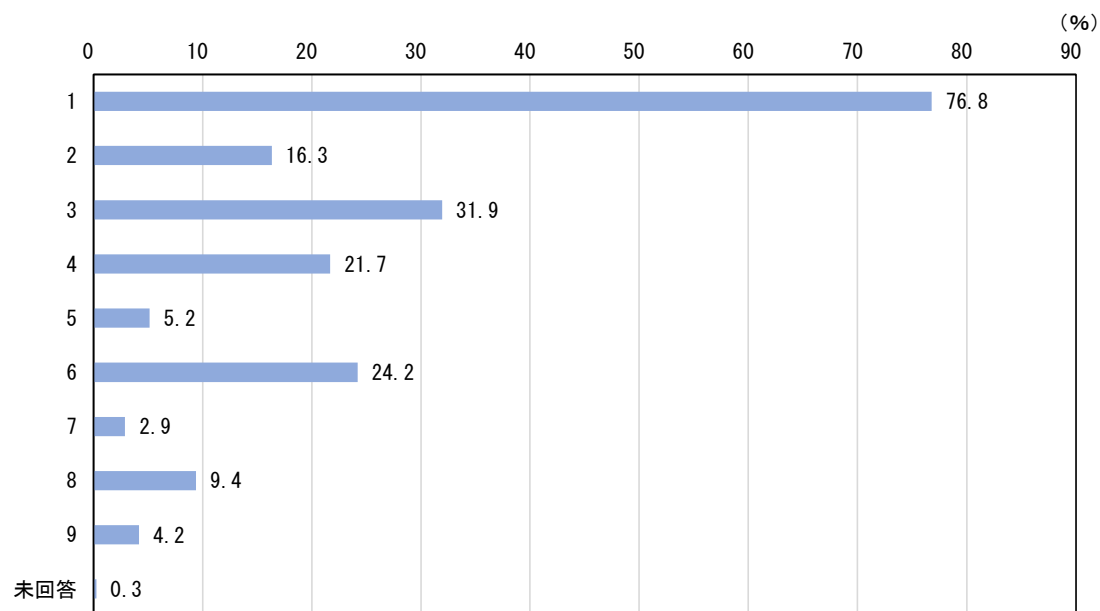


【課題】【情報の入手】

「1. 広報かわにし」を使った情報伝達が最も効果が期待できると考えられるため、より効果的な活用を検討するとともに、今回の調査であまり市民に利用されていないツールについては発信方法等の再検討が必要と考えられます。

※『ごみ行政特集「R あ〜る かわにし」』は、『広報かわにし「milife」』に挟んで配布されており、広報だと認識されている方もおられる可能性があります。

	(件) 回答数
1. 広報かわにし「milife」	1,161
2. ごみ行政特集「R あ〜る かわにし」	247
3. 広報「森の泉」 (猪名川上流広域ごみ処理施設組合)	483
4. インターネット (市のホームページ)	328
5. インターネット (国崎クリーンセンターのホームページ)	78
6. 川西市公式ライン	366
7. 市役所や国崎クリーンセンターへの 問い合わせ	44
8. 家族、知人、近隣の住民	142
9. その他	63
未回答	4
合計	2,916



問 12 ごみやリサイクル等に関する情報について、もっと知りたい情報はどのようなことですか。(〇は3つまで)

【特徴】【知りたい情報】

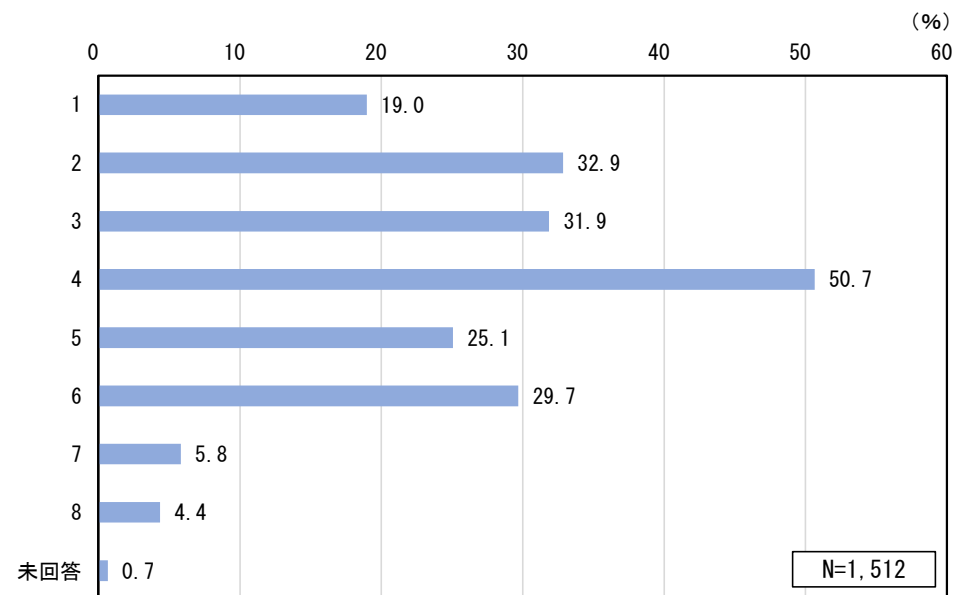
「4. 分かりにくいごみの分別の種類」の回答が約 51%と最も多く、「2. 資源物のゆくえ」、「3. ごみ処理費用」、「5. 市の助成制度」、「6. 店頭回収の情報」なども約 30%前後の回答がありました。



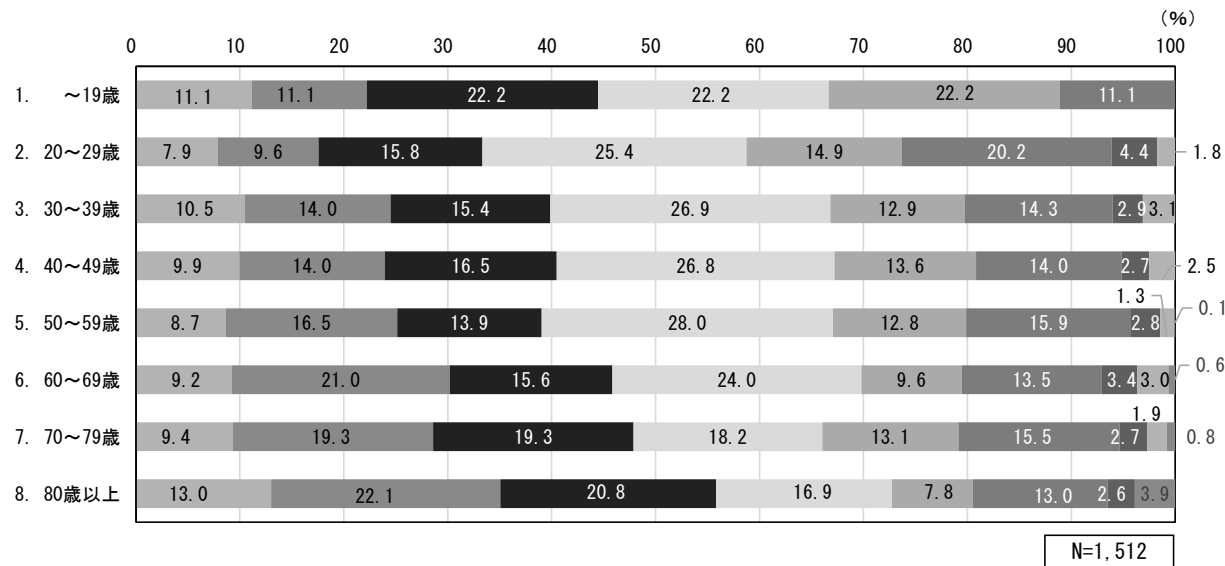
【課題】【知りたい情報】

ごみや資源物のゆくえや費用、分かりにくいごみの分別について、広報や国崎クリーンセンターの見学等を通じて情報提供と啓発を進める必要があります。

	(件)
	回答数
1. ごみや資源物の量の推移	287
2. ごみや資源物のゆくえ	497
3. ごみの処理にかかる費用	482
4. 分かりにくいごみの分別の種類	766
5. 市の助成制度	379
6. 資源物を店頭回収したり、環境にやさしい商品を取り扱う店舗	449
7. ごみ処理やリサイクルに関する法律	88
8. その他	66
未回答	10
合計	3,024



《年齢別クロス集計》



【特徴】【知りたい情報】

年齢別のクロス集計結果をみると「2. ごみや資源物のゆくえ」は年齢が高いほど回答者が多く、「4. 分かりにくいごみの分別の種類」は若年層からの要望が多い傾向がみられました。

問13 ごみの減量やリサイクルを進めていくうえで、取り組みを促進するためにはどのような行政の施策が必要だと思いますか。

(○は3つまで)

【特徴】【必要な行政施策】

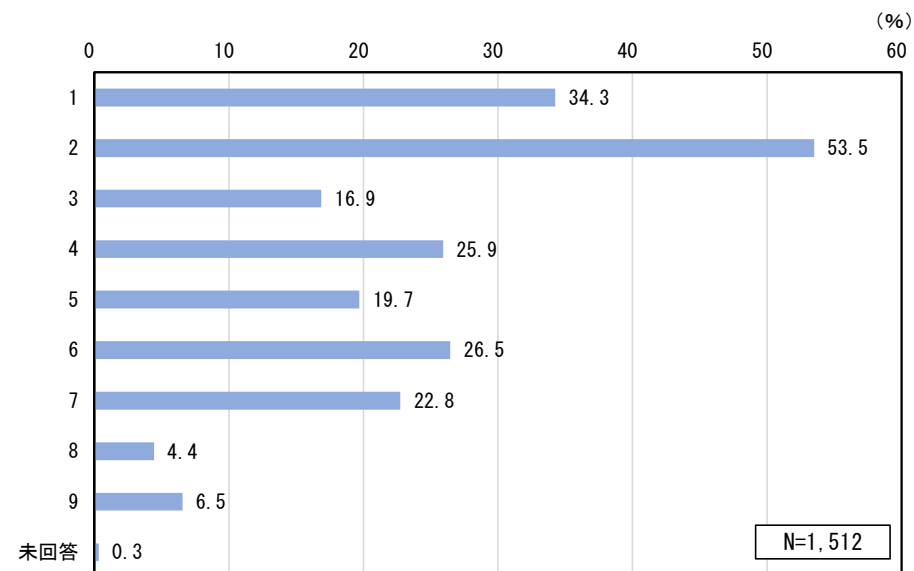
「2. ごみやリサイクルに関する情報提供の充実」が約54%で最も多く、次いで「1. ごみの分別をさらに徹底するための啓発」が必要と回答されています。



【課題】【必要な行政施策】

ごみの減量やリサイクルについては、更なる啓発や指導が必要であると考えます。

	(件) 回答数
1. ごみの分別をさらに徹底するための啓発	518
2. ごみやリサイクルに関する情報提供の充実	809
3. ごみ問題を学習する機会の提供	255
4. ごみ問題に関する学校教育の充実	392
5. 集団回収への積極的な参加の促進	298
6. 事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発	400
7. リユースの取り組みの強化	344
8. 家庭ごみ（燃やすごみ）収集の有料化	67
9. その他	99
未回答	5
合計	3,187



問 14 市が行っているごみの施策について、知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

【特徴】【知っている施策】

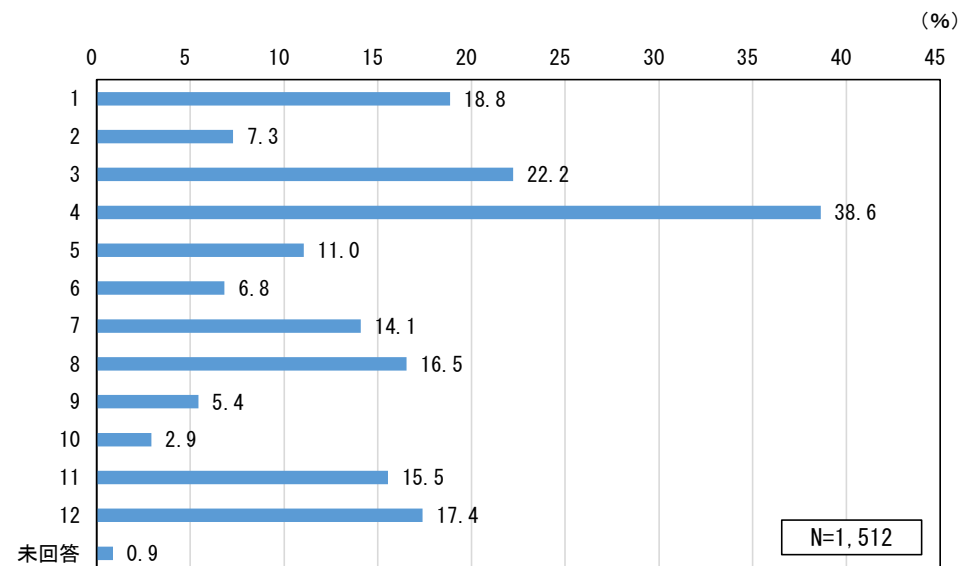
「1. 再生資源集団回収奨励金制度」や「3. 剪定枝粉碎機貸出事業」、「4. R あ〜るかわにし」等が知られています。

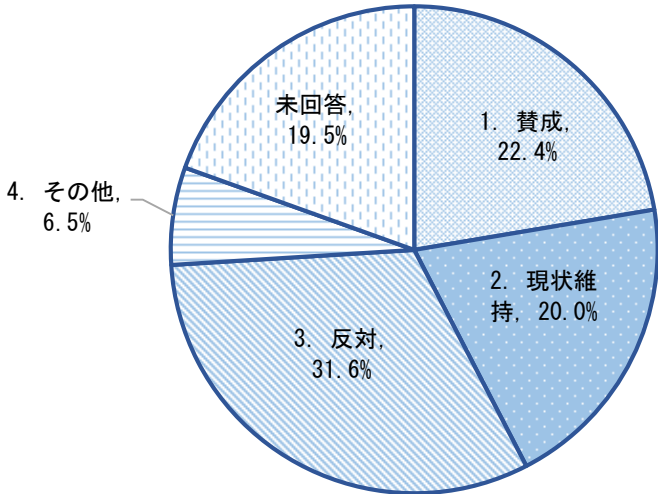


【課題】【知っている施策】

あまり知られていない施策について、啓発を工夫する必要があります。

	(件)
	回答数
1. 再生資源集団回収奨励金制度	285
2. 市から排出される機密文書などのリサイクル事業	110
3. 剪定枝粉碎機貸出事業	336
4. ごみ行政特集「Rあ〜るかわにし」の発行	584
5. まちづくり出前講座「ごみ減量出前講座」の開催	167
6. 子ども向けごみ学習会の開催	103
7. 子ども服リユース事業「ふクレル」	213
8. 川西市食べ残しゼロ運動	250
9. 家庭ごみ量速報	82
10. 「啓発パネル展」の実施	44
11. サポート収集（高齢者、障がい者の戸別収集）	235
12. その他	263
未回答	13
合計	2,685



設問	特徴・課題												
問 15 ごみ袋の有料化について  <table border="1" data-bbox="443 416 1099 911"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 賛成</td> <td>22.4%</td> </tr> <tr> <td>2. 現状維持</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>3. 反対</td> <td>31.6%</td> </tr> <tr> <td>4. その他</td> <td>6.5%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>19.5%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	1. 賛成	22.4%	2. 現状維持	20.0%	3. 反対	31.6%	4. その他	6.5%	未回答	19.5%	【特徴】【ごみ袋の有料化】 賛成 22.4%、現状維持 20%、反対 31.6%で、 <u>「反対意見」には有料化により不法投棄や不適正排出が増加すること、経済的な負担を懸念する意見が多くありました。</u>
回答	割合												
1. 賛成	22.4%												
2. 現状維持	20.0%												
3. 反対	31.6%												
4. その他	6.5%												
未回答	19.5%												